

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	市民の視点で地域包括ケアを知る		
団体名	めじろ台安心ねっと		
事業費	223,623円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>めじろ台一～四丁目は、計画時点で、高齢化率約35%、一人暮らし高齢者の増加、孤立死の発生もみられる。この実情と当会の上記方針から、国の重要施策である「地域包括ケア」に深く関心を持っている。他方、この地域で、それがどう展開されるのか、必ずしも明らかでない。その中心的な重要事項について情報を整理して、住民に知らせたい。</p>
	<p>内容</p> <p>めじろ台を中心とする地域住民が、高齢期においても安心、安全、快適に地元で最後まで生活を続けることを目指す当会として、現在、国の重要施策となっている地域包括ケア(特に、在宅医療・介護、生活支援の緊密な連携など)の情報を住民の立場から取得・分析し、住民に広報する。</p>

事業の実績	<p>4月8日・新年度の開始にあたり役員会で事業の進め方を決定。春のウォーキング担当者、実施日等を決定。</p> <p>4月10日・昨年度に引き続き医療・福祉相談日は毎月第2、第4水曜日とし、今年度第一回目の相談を実施。</p> <p>5月10日・市民企画事業の補助金が受けられることになったので、具体的な進め方について検討を行った。</p> <p>5月22日・町会第一会館で総会を行い、会員に今年度の事業計画を発表及び懇談会を実施。</p> <p>5月25日・ウォーキングは実査した結果、みなみ野の日野自動車21世紀センター方面に医師同行で実施。</p> <p>6月6日・高齢者あんしん相談センター川口の栗山氏から聞き取り調査。</p> <p>6月11日・定例委員会で、八王子市の地域包括ケアについて現状を知るべく担当者に話をしてもらえよう交渉をすることにした。</p> <p>6月25日・八王子市高齢者支援課主査 小林 治氏を招き、八王子市にける地域包括ケアについて話を伺った。</p> <p>6月28日・八王子介護支援専門員連絡協議会事務局長 松浦明美氏から聞き取り調査打合せ。</p> <p>7月30日・風の会の家で、高齢者あんしん相談センターめじろの大塚道子氏より、「地域包括センターとしての、「地域包括ケアの取り組み」について現状報告がなされた。</p> <p>・市民企画事業「市民の視点で地域包括ケアを知る」の進め方としては、小委員会を設置し、ここが主体となって活動し、要所で全体会で報告する。</p> <p>9月20日・小委員会で地域包括ケアについての勉強会。</p> <p>10月13日・地域包括ケア研究について今後の進め方を検討各施設に対するアンケートを実施することに決定。</p> <p>10月22日・アンケート内容について協議。</p> <p>10月27日・アンケート票、依頼状、パンフレット等を袋詰めし、各委員の訪問先を決定。</p> <p>A班(芦谷、青木、若尾) やさしい手、散田町、とけやき並木、在宅ケア他全部で10箇所、</p> <p>B班(白井、荻島、富永) 葵、指定居宅たかお、ウエルハイム</p> <p>C班(中村) 居宅心成苑、ニチイケア高尾、おあしず、ニチイ小規模</p> <p>D班(嶺、栗城) 十字会、めだか、寿限無、永生、めじろ、めじろ(認知症)</p> <p>11月10日 アンケート票回収集計、14-15日未回答事業所に電話し、回答を得た。</p> <p>11月18日・アンケート票分析、集計をおこなった。</p> <p>11月26日・元永生病院の深尾氏が委員として初参加し、永生会の現況報告。</p> <p>12月17日・委員にアンケートの結果等を配布、永生病院の山縣氏・・・永生総合研究所が委員として初参加。</p> <p>1月14日・風の会の家で数井医師を招き「在宅医療について聞く会」を開催。</p> <p>外部から浅井(高齢者あんしん相談センター片倉、大塚(同 めじろ)、山縣(永生会)他参加。</p> <p>1月28日・会合で「介護保険関係事業所の活動の現状と課題に関する事例調査」と「市民の視点で地域包括ケアを知る」最終報告の骨格について説明、各委員から意見を聞いた。</p> <p>2月18日・報告書(素案)の続きを嶺代表から説明、意見交換をした。</p> <p>2月25日・報告書「終わりに」を嶺代表から説明、意見交換をした。</p> <p>3月1日・「ここで最後まで、安心、安全、快適に過ごしたい」のテーマで報告会を開催し、嶺代表が発表した。</p> <p>これに対し松浦明美氏(八王子介護支援専門員連絡協議会 事務局長)がコメントをした。</p> <p>3月18日・完成した報告書(案)を各委員に提示し、一部を修正することにした。</p> <p>若尾氏から「すずの会」の訪問から感じたことに対する発言があったが、別の機会に報告をお願いすることにした。また今後の街づくりに関連した意見等が出された。</p>
-------	--

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>この事業は、「市民の視点で地域包括ケアについて知る」ことを目指したものであるが、1年間の種々の活動の結果、年度末に、結果報告書(A4 55ページ)と参考資料(A4 約50ページ)をまとめることができた。報告書では、全国レベルでの地域包括ケアシステムに関する政策の推移や諸論点を概観することができる。また、これを受けて、市町村レベル、日常生活圏レベルでどのような課題があるかなどについて、検討したところを示している。</p> <p>最近では、地域包括ケアは、住まい、予防(介護予防)、医療、介護、生活支援の5つの分野の一体的統合化を指向しているが、これらの個別の分野ごとの概況、特質、課題等について、情報を整理して結果報告書に記述してある。</p> <p>また、認知症への対応、看取りをめぐる問題、ケアマネージャーの在り方などの、政策的に重要な事項についても、同様である。これらにより、報告書は複雑な地域包括ケアについて、明確にこれを理解し、レベル別分野別にどのような課題があるかを知ることにより寄与できる。</p> <p>報告書の「終わりに」の部分では、国レベル、八王子市レベルでの課題について具体的に述べたあと、めじろ台地域という日常生活圏での諸課題を指摘した。</p> <p>この指摘は、この地域で、今後有効な地域包括ケアシステムを築くための論点となりうると、ともに、町会という地縁組織やその他の組織・団体による街づくりの共通のテーマとなりうると考えている。</p> <p>当会としては、報告書(特に、其の要旨)を基礎に、地域の諸組織による、地域包括ケア及び街づくりの実践に連なるような論議が展開することを期待している。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることが	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんどおなじ (2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2, 3と答えた場合のみ) 事業が進行するに伴い、計画時点で考えたよりも事柄が複雑で、また深く検討すべき課題も現れてくるため、一度計画変更したが間に合わない状況であった。対象の複雑さのため、当初予想したより多くの活動を要し、また、報告書も大きなものとなった。
	その他、評価すべき点等	小委員会が中心となって、議論し、活動を推進したが、高齢者あんしん相談センターめじろ医療法人永生会の幹部職員等がこの審議に参加してもらえた。 また、市の関係職員から、この事業に、貴重な情報提供等もあった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>報告書を氏の担当職、各高齢者あんしん相談センターに配布したい。</p> <p>報告書は、なるべく客観的に記述しており、地域包括ケアに関する市民の視点を理解してもらえと期待する。報告書がおおきなものになったので、報告書要旨をつくり、当会会員に配布する。また、この報告書要旨を一つの素材に、地域の諸組織、団体による意見交換の機会ができないか、検討したい。</p> <p>適当な助成がえられれば、町会の協力をえて、超高齢化を前にした、住民の意向調査を行いたい。</p>
---------	--

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」		
団体名	高尾山マガジン編集委員会		
事業費	1,303,938円	補助金額	650,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>インターネット上での高尾山の情報は、行政や公的機関、関係各社のホームページで行われているが、高尾山には基本的情報のみならず、イベント、飲食店、開花や紅葉などの自然情報、ハイシーズンの混雑、通行止め情報など数多くの情報があり、これらを効果的に提供したいと思い、2011年9月から「高尾山マガジン」を開始した。</p>
	<p>内容</p> <p>年間300万人の登山客が訪れる高尾山の総合情報サイト「高尾山マガジン」を運営し、登山客に対し有益な情報を提供する。Webサイトのほか、Twitterやfacebookなどのソーシャルメディアを利用して、効果的な情報発信を行う。</p> <p>またあわせて、八王子の観光情報なども発信し、多数の登山客に八王子の魅力も発信する。</p>

事業の活動実績	<p>●Webサイトの充実</p> <p>サイトデザインや構成を全面的に見直し、以前不十分だった登山コースやイベント、施設ページなど、基本情報ページを充実させた。また、「今日の高尾山」というコーナーで最近の高尾山の様子を写真で伝えたり、高尾山の特色である豊富な花のフォトギャラリーを開設したりと、コンテンツの拡充を行った。</p>
	<p>●高尾山で働く人のインタビュー</p> <p>H25年度からの独自企画として、高尾山で働いたり活動している人へのインタビュー記事を掲載している。現在、高尾ビジターセンター、森林センター(林野庁)、八王子消防署などの行政機関、茶屋、おそば屋といった店舗、薬王院の僧侶、ムササビの研究者に話を伺い、様々な魅力を持つ高尾山を、普段から山で働いている人の視点で紹介した。</p>
	<p>●facebookやTwitterで情報を発信</p> <p>Webサイトのほか、facebookやTwitterを利用し、イベント情報、開花や紅葉などの自然情報、ハイシーズンの混雑状況や通行止め情報、大雪などの天候の様子を発信した。</p>
	<p>●市内関連団体・グループとの連携</p> <p>八王子観光協会主催の高尾山ガイドツアーに取材し、記事でツアー内容を紹介した。またH24年度本補助金交付事業の「高尾山の花名さがし隊」から写真提供などを受け連携させていた。</p>



事業の成果・効果	<p>●Web サイトへのアクセス数の増加 サイトリニューアルや新規コンテンツの追加をした結果、サイトへのアクセス数が概ね前年度の3倍に増加した。(H25年度の1年間で229,804 ページビュー。これは1日平均 630 ページが閲覧されている計算で、前年度比の3.07倍)</p> <p>●facebook や Twitter での情報発信効果 行政が運用していなかった facebook や Twitter を活用し情報発信を行ったところ、タイムリーな情報を求める登山客に多くフォローされ、26/4/1 現在、Twitter では高尾山関連で1、2を争うフォロワー数を誇る。フォロワー数は、年度当初に比べ Twitter は約3倍 (677→1884)、facebook ページは約7倍 (89→652) にフォロワー数が増加した。</p> <p>●行政との連携 上記の発信力を利用し、行政が観光客に伝えたい情報を発信した。 特に高尾山では例年年末年始に特別警戒が行われるが、行政から情報の提供を受け周知協力を行った。またインタビュー企画では、年末に合わせ高尾山の救急活動を行っている八王子消防署浅川出張所へのインタビューを掲載し、注意喚起を含む発信ができた。</p> <p>●八王子の観光情報を発信 高尾山に興味のあるユーザーに、八王子の観光情報についても発信を行った。 「八王子城跡」の記事は、当該施設が北高尾山稜という登山コースの入口であることを紹介することで、登山客に大変興味を持って読まれた。その他にも裏高尾などメイン以外のルートを紹介することで、一局集中している観光客に他の場所へ目を向けさせる効果があった。また登山関係以外でも、いちよう祭りや八王子ラーメンの記事などを掲載したところ、多くの反応があった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 団体としても運営の初年度で不慣れな点があり、消耗品費や交通費をやや多めに見積ってしまった。また、ケーブルカーの2ヶ月に及ぶ工事と記録的な積雪により、若干の取材計画変更を余儀なくされた。
	その他、評価すべき点等	1年間を通じコンテンツの充実やタイムリーな情報発信などを行い、アクセス数の増加など一定の効果は達成できたが、高尾山の情報は膨大で、まだ扱いきれていない点もあり、一層の努力をしていきたい。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今までのかたちで引き続き情報発信を続ける一方、新しい企画も試みていく。 事業化の試みとして、企業など他団体との連携を模索していく。 H26年度は、高尾山に多いビギナー登山者向けのページを制作し、そこで大手アウトドアショップとの連携を計画している。 また、高尾山には外国人も多く訪れるため、英語での情報発信を試みていく。東京オリンピックに向け、外国人観光客の取り込みを見据えた準備をすすめていく。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「大久保長安研究と八王子のまちおこし」		
団体名	大久保長安の会		
事業費	2,434,783円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	目的 江戸初期、八王子のまちづくりの基礎を固めた大久保石見守長安の調査研究を行い、その業績を市民の多くの人々に知っていただき長安を表舞台に浮上させまちおこしの大きな活力とする。
	内容 ①大久保石見守長安の没400年の記念行事（春・秋の2回）を中心に、大久保石見守長安研究の先生及び郷土史家を招きシンポジウム・講演会など市民と共に研究活動。 ②大久保長安に関する本を発刊し、販売とともに若い人に知って戴くため高校以上の学校に約100冊を寄贈する活動。 ③老若男女に知っていただくために、遺跡のまち歩き、古本市などの展示説明、老人会などへの講演などの活動。大学生との共同調査など知っていただくための活動 ④大久保石見守長安に関連する都市の石見銀山の太田市、佐渡金銀山の佐渡市、伊豆の国市、桐生市、足柄町、甲府市などと交流関係の確立。

事業の活動実績 ○内参加者数	4月 「記念行事①」 基調講演、5人のパネラーによるシンポジウム、伊豆の国市の「三番叟」。また別会場にて「長安展示会」を実施。 (379名)
	4月 「大久保長安研究家の村上直先生」の論文をまとめ「論集」として発行。販売すると共に市内高校以上の学校に寄贈。
	6月 「街歩き①」 昼食を挟み一日の史跡めぐり。 (62名)
	7月 市内イベントの あさがお市・古本市などに参加。
	11月・12月 八王子市役所本庁ロビー・南口事務所ロビーでのパネル展示会
	11月 「記念行事②」 基調講演と佐渡の春駒など公演。 (226名)
	11月 学生による市民アンケート調査報告 (25名)
	1月 「講演会」 大久保忠隣の末裔という大久保教授の話を拝聴。 (142名)
	2月 「講演会」 現在の八王子を創る基盤となった「長安の治水事業」の講演を計画したが、あいにく大雪のため中止をせざるを得なかった。(4月に延期)
	3月 「街歩き②」 3時間あまりの短縮コースでの史跡巡り。 (24名)
3月 「(馬場ゼミ)の学生による旧市街地でのアンケート調査で大久保長安の知名度を調べると共に、歴史を生かしての町作りの必要性が語られた。 {25名}	



パネルディスカッション

「大久保長安まち歩き」



事業の成果・効果	<p>「大久保長安の会」は、故菊地正さんの考え方をもとに八王子の民俗を研究していた「とんとんむかしの会」が2009年に発足させた「長安研究会」を母体にスタートした。発案したのは、早くから長安の偉業に注目していた郷土史家の故樋口豊治さんであり、この方を会長とし、法政大学名誉教授の故村上直さんを顧問にお願いして第一回の講演会を長安の陣屋跡である産千代稻荷で開催スタートした。</p> <p>当時は、八王子のまちづくりに長安が貢献していたのに関わらず八王子市民は長田作左衛門が作ったと教えられ信じていた。それを修正した三故人の遺志を継いで活動した。大久保長安没後400年事業を多くの人々の協力を得て成功裏に実施することができた。</p> <p>長安の遺構をめぐるまち歩き・古本市などでの説明・老人会、歴史研究会などでのお話や講演・大久保長安の資料集を発刊し高校以上の学校への寄贈などの活動。</p> <p>また、石見・佐渡・伊豆の国市・奈良・甲府・桐生等、長安が関係した各地の研究団体や自治体とも関係が深まり、それぞれの研究成果を学ぶことが出来、八王子での「長安研究」がより、深まった。</p> <p>結果として、旧市内のアンケート調査の結果、長安を知っている人が44%と向上し、間違った歴史の書き換えができたと思う。</p> <p>大久保長安の業績・考え方をまちづくりの切り口として町会・商店会・老人会などが一部活動に取り入れており、市民力として住みたいまちづくりの展開の基礎作りができたと思う。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 大久保長安の研究者が少なく講師選定が難しく苦勞した。また、石見・佐渡・伊豆の国・京都・奈良・甲府・桐生等、長安が関係した各地の研究団体や自治体とも関係が深まり、それぞれの研究成果を学ぶことも出来、八王子での「大久保長安研究」がより、深まった。
	その他、評価すべき点等	村上直先生の「論集」を発行できたことは、全国に対し「大久保長安」をアピール出来たこととなり、全国的にも研究の一助となった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>「長安が創った町・八王子」を、もっと前面に出し、歴史の町八王子の活発化に寄与したい。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	NPO パワーアップ講座		
団体名	新八王子 NPO パワーアップ事業実行委員会		
事業費	2,140,553 円	補助金額	1,000,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>①市民活動団体運営に必要な実務能力をアップする。</p> <p>②地元の少数団体が長期間講座を共にするので、親密なネットワークができる。講座を重ねるごとに数多くの親密なネットワークが生まれる。これらの親密ネットワーク同士を同じ講座のOBという絆でリンクする</p>
	<p>内容</p> <p>1)市民活動団体の実務能力をアップするため、団体向け実務講座を実施する</p> <p>①組織の運営 (組織のミッションの明確化 事業計画と評価 事務局の役割)</p> <p>②財政基盤強化 (会計業務 助成金の申請)</p> <p>③広報活動 (情報発信 広報 パソコンの基本)</p> <p>2)団体運営の基盤となるパソコンの基本知識を広く個人としても参加可能な公開講座として実施する。</p>

事業の活動実績	<p>1. 団体対象連続講座開催 7講座計10日+中間報告会、修了式 (6月6日~10月31日)</p> <p>6月6日"組織のミッションの明確化" 法政大学名誉教授 山岡義典講師</p> <p>6月20日"事業計画と評価" IIHOE 代表 川北秀人講師</p> <p>7月4日"事務局の役割" NPO 法人八王子子ども劇場代表 浅野里恵子講師 (株)チーム医療代表 梅本和比己講師</p> <p>7月18日"事業展開と資金調達" NPO 法人「育て上げ」ネット代表 工藤啓講師</p> <p>8月29日中間報告会 コメンテーター 法政大学名誉教授 山岡義典講師</p> <p>9月5日 12日"広報活動" 八王子市市民活動支援センター副センター長川久保美紀子講師</p> <p>9月19日 26日"情報発信" 好齢ビジネスパートナーズ 世話人堀池喜一郎講師</p> <p>10月3日 17日 24日"会計業務" 板垣税務会計事務所 板垣力講師</p> <p>10月31日"修了式" コメンテーター 法政大学名誉教授 山岡義典講師</p> <p>フォローアップ講座開催</p> <p>H26年2月21日"パソコンソフトもらえますよ講座"</p> <p>H26年3月16日"会計フォローアップ講座"</p> <p>2. 市民活動中個人向け"ITの基本講座"</p> <p>8月1日、8日、22日 本講座3日</p> <p>フォローアップ講座2日 (11月28日、12月13日)</p>
---------	---



ワークショップ状況



パソコンを使った情報発信講座

事業の成果・効果	<p>1. 団体実務習得連続講座</p> <p>1.1 本講座</p> <p>①参加団体 11 団体、個人 8 人が修了</p> <p>②本講座 7 講座全 10 日 平均出席者数 23.6 人 (述べ参加者数 236 名)</p> <p>③修了式には式後、Web を活用した資金調達方法の特別講演会『あなたの想いを実現しましょう「READYFOR?による資金調達」』を開催し受講者を含め 67 名の参加を得、賑やかな式とすることができました。ネットワークづくりにも役立ちました。受講団体の NPO 法人八王子子ども劇場はこの方式にチャレンジし、見事 16 万円の資金を獲得する成果を上げられました。</p> <p>1.2 フォローアップ講座</p> <p>フォローアップとしては実際の行動が結果につながる講座を目指した。</p> <p>①「パソコンソフトがもらえますよ講座」</p> <p>NPO 法人を対象とし、必要情報を公開し、資格審査に通ると市価の約 1/10 の手数料でパソコンソフトを寄贈してもらえ「Techsoup プログラム」の説明会を開催しました。事前に必要情報を準備していただき当日パソコン入力していただき参加した 10 団体すべてが登録出来ました。</p> <p>②会計フォローアップ講座</p> <p>本講座が講義に終始したので、フォローアップとして、会計ツールと、Web を使った会計ソフトを、サンプル入力を行いながら説明した。</p> <p>1.3 アンケート評価結果</p> <p>①各講座の評価は全般的に高い評価をいただいている。特に実践団体の講座は大好評でした。”</p> <p>②特徴の評価；通しでの参加、2 人団体の参加、個人の参加も 90% ~80%の支持を得ました</p> <p>③満足度；も高い評価をいただきました。</p> <p>役立つか→87%が役立つ 他の団体に勧めるか？→67%が勧めてもよい。</p> <p>2. IT の基本講座</p> <p>募集枠いっぱいの 18 名に受講していただきました。アンケート結果も好評でした。</p> <p>本講座後 Word、Excel を 2 回に分けてポイントを絞ったフォローアップ講座を開催し好評でした。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ②多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>①人件費増；フォローアップを計 4 回開催し事務局の工数が見込みより増えた (IT の基本 2 回、Techsoup 説明会、会計講座) ②印刷製本費増；内部プリンター使用料を支払。③会場借上げ料減；協力企業から安くお借りできました。④合計として決算額は予算を 7 万円強超過しました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>八王子では初めて系統的に団体の実務能力をアップする本格的な講座を立ち上げました。実際の改善につながる講座を目指した結果、1 団体が NPO 法人格獲得、1 団体が一般社団法人格獲得。1 団体 READYFOR により資金獲得。Techsoup 説明会で全受講団体が登録完了等の具体的な成果を挙げました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>この事業は平成 23 年度、24 年度は東京都の新しい公共支援事業のモデル事業に選定していただき、平成 25 年度は民間の実行委員会方式で市民企画事業として助成いただき運営しましたが、平成 26 年度からは市の事業として八王子市市民活動支援センターで運用することとなりました。基本的な内容は維持しつつ、センター事業とも関連性を持たせ、より参加しやすいかたちでの講座にしていきます。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「守ってきたい多摩丘陵の自然」-30年の活動-		
団体名	多摩丘陵の自然を守る会		
事業費	¥ 880,359 円	補助金額	¥ 450,000 円

事業の目的・内容	目的	当守る会が由木地区のみどりを守ろうと、地域住民や市外からの応援者と共に活動してきた記録をまとめ、地域の緑への思いを次世代に伝える。
	内容	多摩丘陵の緑が、この30年間でどのように変化してきたかを当守る会の活動記録に沿ってまとめる。由木地区の貴重な緑地3ヶ所を緑地指定、公有化に向け進めてきた活動を記録し、緑を守ることの重要性を訴える。

事業の活動実績	<p>当守る会の活動が、多摩丘陵の開発と自然保護との関係の中で、どのような役割を果たしてきたかを、この30年を振り返って見るため、国や東京都などの大きな動きと共に年表にした。</p> <p>又緑の地主である農家の人たちの生活振興や緑に対する思いも書き止めた。</p> <p>自然保護が生物の多様性を守ることを念頭にふった今、守り続けていくためには多くの人達の協力が不可欠である。このことを少しでも伝えたいと思う。</p> <p>フルカラー版印刷、146頁の冊子が完成できた。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>この30年間に会員の世代交代が進み、会設立当時のいきさつや活動の内容を知らない会員も増えた。また、地域の住民も丘陵の緑の減少や町並みの変化を知る人が減少してきている。この冊子が、地域の変化や自然が人間の生活にとってどれ程重要かを考えてもらえるよい機会を提供できると思う。</p> <p style="text-align: center;">＜冊子「守っていききたい多摩丘陵の自然－30年の活動－」の内容＞</p>	
	<p>1、地図 多摩丘陵（八王子市由木地区とその周辺）の変化</p> <p>2、年表 多摩丘陵の自然環境に関わる事項及び守る会の活動</p> <p>3、「多摩丘陵の自然を守る会」の設立</p> <p>4、東京都みどりの監視員から八王子市環境市民会議へ</p> <p>5、緑地指定に向けての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都八王子東中野緑地保全地域 ・由木めぐみ野緑地 ・東京都八王子堀之内里山保全地域 ・親子里山保全体験講座 <p>6、保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺沢川改修 ・カタクリ移植 ・八王子堀之内宮嶽谷戸の水稲栽培 ・多摩ニュータウン19住区での移植活動 ・環境教育支援活動 ・都立長沼公園、平山城址公園での活動報告 ・環境省モニタリング1000里地調査 	<p>7、由木地区の生きものの調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トウキョウサンショウウオ ・ホトケドジョウ ・ホタル ・オオタカ <p>8、自然観察会</p> <p>9、調査活動報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山保全シンポジウム報告書（2002） ・八王子市由木地区希少動・植物調査報告（2004） ・同植物目録（2007） ・八王子市堀之内宮嶽谷戸の植物目録（2010） ・稀少植物写真集（各報告書から抜粋） <p>10、『守る会』の活動展開催 ー守っていききたい多摩丘陵の自然ー</p> <p>11、今後の展開</p> <p style="padding-left: 20px;">おわりにかえてー緑を守ってきた農家ー会員紹介</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） ① 30年記念誌の完成が年度末になったので、「事業による収入」（記念誌の販売）が零であった。 ② 「消耗品費」「通信費」などが当初の想定よりも少なく済んだ。
	その他、評価すべき点等	参考資料として必要とする人達がいることが分かり、記録しておくことの重要性を実感できた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

事業展開	今後の
------	-----

平成 25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	発達障がいに対する理解を深める音楽ムーブメント体験会の実施と「発達に凸凹のある子ども達」の受け入れ		
団体名	一般社団法人チャイルドライフ		
事業費	3,025,073 円	補助金額	900,000 円

事業の目的・内容	目的 ① 「学童保育」にも「放課後等デイサービス」にも居場所を見つけにくい「発達に凸凹のある子どもたち」の放課後の居場所を「学童保育ベルテール」内に作り、環境を整え日常生活習慣を支援する。 ② 「発達に凸凹のある子」の支援に当たる当事者がともに学び交流できる「音楽ムーブメント体験会」を実施する。支援に当たる当事者が、子供たちや保護者の気持ちや願いを知ることで、地域一丸となって支援に取り組むような場を作る。
	内容 ① クリエイト音楽ムーブメント体験会 ② 発達に凸凹のある子の生活支援について勉強会 ③ 学童保育ベルテールにおける「発達に凸凹のある」子供たちの受け入れ

事業の活動実績	<p><活動実績></p> <p>クリエイト音楽ムーブメント体験会および勉強会 地域の子供たちと保護者が参加する体験会・勉強会を全9回（うち事業年度内8回）実施。</p> <p>良かった点：当初想定していた保護者や子供たち・当法人の職員だけでなく、他の通所支援事業所の職員さんや地域の保育園の先生など、当初想定していたのとは違った形で地域からの参加者があり、支援にあたる地域の輪を予想以上に広げることができた。</p> <p>反省点：学生ボランティアの受け入れを想定していたが、明星大学や城西大学からの学生さんについてインターンシップの形で受け入れた。地域ボランティアも参加が無く、計画していたボランティアに対する謝礼がほとんど発生せず、期中で予算計画を修正・変更申請した。</p>
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真①

<ムーブメント体験会>



事業の様子または成果がわかる写真②

<支援にあたる大人による勉強会>



事業の成果・効果	<p><実施後の効果評価></p> <p>成果：放課後等デイサービスとの連携の元、アスペルガー症候群・情緒障害・軽度発達障害のある子の適切な放課後の居場所を作ることができた。学童保育において予想以上にスムーズにこうした特性を持つ子どもたちの居場所を作ることができ、派生的な効果として、普通学級に在籍しているが軽微な発達障がいを持つと思われる子どもたちの落ち着いた居場所も実現することができた。地域コミュニティにおいて、健常児・障害児の区分にかかわらず、さまざまなタイプの子ひとりひとりが満足できるような丁寧なケアモデルとして、学童保育と放課後等デイサービスの連携が有効であることは実証できた。</p> <p>課題：メインの居場所が、学童保育からデイサービスに途中で移っていったケースがあった。①子ども自身が放課後等デイサービスを居場所として気に入ってしまった場合。②保護者が“学童保育よりも放課後等デイサービスの方が、保護者負担が少ない”ことに気が付いた場合</p> <p>本事業で得たこれらの経験から「発達に凸凹のある子どもたち」に対する充実した学習支援体制を実現させるためには、本計画で当初想定していた学童保育内で行うのではなく、「学習支援型の放課後等デイサービス」の方が有効、と考え始めた。対象年齢についても当初考えていた小学生ではなく一人一人の特性やできることが明確になってくる中学生（一部小学生の高学年）をメインとし、みなみ野で独自のプロジェクトとすることを考えている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた <input checked="" type="radio"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ） 事業成果については満足しているが、実施回数やボランティアの参加については当初思っていたようには進まなかった。結局、変更申請を行った点は反省点。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p><input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ） 目的はほぼ達成。より発展的な取り組みにつなげていけそう。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった <input checked="" type="radio"/> 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ） 外部講師・ボランティアに対する謝礼・交通費などが見込とは異なってしまい、11月に変更申請を行った。 参加者が集まらなかった場合などにおいて、12回の予定のうち9回しか行うことができなかった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>「放課後等デイサービスと学童保育の連携」については、予想以上に効果があり、今後当法人の子どもの居場所づくりのモデルとなる成果であった。実際に千葉県木更津市においても、放課後デイと学童の連携による居場所づくりに平成26年1月から取り組んでいる。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>本事業は「学童保育内に軽度の発達障がいのある子の居場所をつくる」ことを目標として、一応の成果を上げることができたが、1年間の取り組みの経験からこの取組は学童保育内で行うよりもそれに特化した放課後等デイサービスで行う方がより有効ではないかと考えるに至った。「重い障害のある子中心の預かり型放課後等デイサービス」「発達に凸凹のある子（軽度発達障害のある子）中心の学習支援型放課後等デイサービス」「定型発達児の学童保育」の3機能を整備することを検討する。市民企画事業としては今年度で完了し、「学習支援型デイサービス」の実現に向けて取り組んでいきたい。</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	情報弱者のためのスマホ・タブレット学習講座		
団体名	情報ボランティアの会 (八王子)		
事業費	1,175,565円	補助金額	587,000円

事業の目的・内容	<p>目的 情報弱者や市民にとって情報を受ける際、スマホ・タブレットは機器操作が極めて簡単に優れた携帯性および安価な購入価格のために利用を積極的に推進している事例が世界中に多々ある。八王子市に関してもPCを所有していない高齢者や障害者や外国人がまだまだ多くいるが、彼らにとってここ2、3年で爆発的に普及しているスマホ・タブレットを活用する利点は多々ある。また一般市民にとってもそれらの情報端末に対する興味も非常に強い。さらに2012年10月に当会が実施したスマホ・タブレットの市民講座では定員72人の会場が満員になる盛況であり市民の興味の強さを強く感じた。</p> <p>そこで八王子市在住の情報弱者や一般市民のためにスマホ・タブレットの積極活用をすることの意義は非常に高く、その積極的な支援をするために本事業を企画した。</p>
	<p>内容 PCを所有していない高齢者や障害者や外国人にとって極めて入手も学習も利用も携帯も容易なスマホ・タブレットの活用を積極的に推進するため、会の独自事業として、情報弱者を対象としたスマホ・タブレット学習講座を開催する。</p> <p>講座で情報弱者がスマホ・タブレットの使用法を習得し、さまざまな有益な情報を得るための道具として活用してもらい、市からの情報、バリアフリー情報、その他多種多様な情報を得るための画期的に便利で身近な道具として利用できるように指導し、市民のICT化推進のすそ野を広げる活動を行なう。</p>

事業の活動実績	<p>講座に先立ち、テキストを決め、外部講師を招いて今回のスタッフ向けにタブレット講座を実施した。これに基づき、講座内容を確定し、主に3人の講師、その他数名のアシスタントによって講座を開始した。</p> <p>実施日は9/17、9/26、10/1、10/10、10/15、10/24、10/29、11/7、11/14、11/19、11/28、12/2、12/3、12/12、1/9、1/16、1/20、1/30、2/3、2/17、2/20、2/24、3/6、3/13、3/27、の計25回実施し、受講者数計171人、スタッフ数120人の講座を実施した。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>現在、タブレット・スマホの言葉を聞かない日はないほど急速に普及してきている。</p> <p>PCを習ったことのないあるいは所有していない高齢者や障害者や外国人にとって極めて入手も学習も利用も携帯も容易なスマホ・タブレットの活用を積極的に推進するため、会の独自事業として、情報弱者を対象としたスマホ・タブレット学習講座を開催した。</p> <p>講座で情報弱者がスマホ・タブレットの使用法を習得し、さまざまな有益な情報を得るための道具として活用してもらい、市からの情報、バリアフリー情報、その他多種多様な情報を得るための画期的に便利で身近な道具として利用できるように指導し、市民のICT化推進のすそ野を広げる活動を行ってきた。</p> <p>そこで今回実施した事業により、今後の自立した事業化とするために受講料を見直し、2500円と修正したが、当初計画と同程度の受講者数(申請時予定200人)を得られ、H26年度の独自事業としての見通しが立った。</p> <p>また会員のタブレット保有率が10%未満から40%程度まで底上げされ、その点での今後の会の活動の広がりも期待できる。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大層に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>当初予定していた民間の助成金が獲得できなかったことから、講師謝礼や購入機器の単価を抑えるなど、支出の削減に努めるとともに、受講料を見直した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>今回の講座以外にも、2013/11/17にクリエイイトホールにて八王子市と連携し、午前59名 午後61名、計120名、スタッフ14名のタブレット講座入門を実施した。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後も、随時、タブレットの実習講座、座学講座を実施していく予定である。</p>
---------	--

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	一筆箋「八王子ものがたり」で八王子の魅力アップ		
団体名	八王子ボランティアネットワーク		
事業費	2,472,283円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	目的 市民の力で観光客をはじめ市民にも魅力ある八王子のまちをつくる。
	内容 第33回多摩国体など市内で開催されるイベントを通して、八王子を訪れた方がお土産に買って帰れる「一筆箋」(八王子ものがたり)を制作販売し、その売上金で八王子の観光魅力をアップする取り組みを進めていくもの。

事業の活動実績	<p>4月2日 第1回打合せ 5月1日 第2回打合せ 5月11日 一筆箋一部納品 12000部 5月12日 一筆箋お披露目会開催(参加者約400人) 6月1日 一筆箋販売(環境フェスティバル) 7月6・7日 一筆箋販売(朝顔市) 8月2日 一筆箋販売(八王子まつり) 8月 一筆箋追加納品 6000部 9月29・30日 一筆箋販売(国体会場) 10月4～6日 一筆箋販売(八王子物産展) 11月17日 一筆箋販売(いちちょう祭)</p> <p>【販売窓口】 市役所売店、高尾山口駅売店、高尾駒木野庭園、夕やけ小やけふれあいの里、戸吹湯ったり館、夢美術館、くまざわ書店、清川町 You&I、川口町きずな工房 ほか</p>
---------	--

完成させた一筆箋 (6種類)



一筆箋販売 (環境フェスティバル)



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子ボランティアネットワーク創立 14 年の経験と関係団体のノウハウを活かして、市民の力で観光客をはじめ市民にも魅力ある喜ばれる八王子土産を完成させた。また、市内各種ボランティア団体関係者約 400 人を一堂に会した「一筆箋お披露目式」を開催した結果、八王子の市民力の偉大さを認識してもらう機会となった。 一筆箋作成部数：18000 部 ・東京多摩国体では、選手等約 3000 人に「一筆箋八王子ものがたり」を土産に持ち帰っていただいた。これにより、八王子の市民力と八王子の観光の魅力（ミシュラン三つ星高尾山、童謡夕やけ小やけの故郷など）を全国にアピールすることができた。また、選手自らもお土産として買って帰られた。 ・環境フェスティバルやいちよう祭等で一筆箋を販売し、観光土産「一筆箋八王子ものがたり」を通して市の観光を市内外にPRした。一筆箋を手にとられた多くの方から絶賛の声が寄せられたほか、故郷に帰る方が土産にするとのお話もたくさん聞くようになった。 販売数：約 8000 部 ・企画、準備、完成、販売の取組を通じて市民、関係団体、行政と市内観光施設等との絆を築きあげることができたほか、何よりも八王子の自然や歴史の魅力を更に多くの人に伝えたいという会員の熱意が更に盛り上がってきた。 ・一筆箋の成功により、26 年度は自立した事業展開が可能となったほか、ボランティアに自信が付き、今回の経験を活かして次のステップの準備に着手することができた。 <p>26 年度に向けて準備着手できた事業 下記「今後の事業展開」に記載したとおり</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	当初予想を大きく上回る部数を販売でき、八王子市の観光を予想以上にPRすることができたほか、次年度に向けた準備を整えることができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・今回構築できた市民と参加関係団体等との絆を糧として、一筆箋の販売売上で市民の手による観光PR活動を更に拡大して展開していく。 <p>26 年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「八王子の中核市を祝う菓子（八王子ものがたり）」の製造販売 （千人同心にちなみ「八王子ものがたり応援千人隊」を結成する） ② 市民約 600 人によるやまゆりの里復活活動（種からの栽培）を支援 （復活させた「上川やまゆりの里」で観光客を八王子に呼び込む） <p>27 年度以降予定</p> <p>市内ボランティア団体協賛による「市民力のまち八王子アーケード」（八王子駅前）の建立</p>
---------	---

平成25年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	元気になるシニアの音楽と軽い運動		
団体名	八王子音楽療法研究会		
事業費	536,350	円	補助金額 178,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>・八王子市は高齢者が多くいます。そこでお元気に過ごして頂くのに、まず「脳の活性化」が必要です。それには「音楽療法」が大変効果のあることが研究されています。「高齢者の音楽療法」を大いに活用し「脳の活性化」等を目的に企画し講座を開催します。</p>
	<p>内容</p> <p>1、音楽の働きがもつ、医学的・心理学的・社会的等を用いて講義と実践を実施しました。 2、心と身体の癒しとして、歌・楽器・軽い運動・脳トレ・手話・手遊び・トーク（歌の説明、歴史に纏わる歌の話、回想など）等を実践しました。 3、知識として医学や心理、福祉、教育に役立つ講話を専門家を招いて行い心の面からの研究をした。</p>

事業の活動実績	<p>[講演会・実践講習会]</p> <p>1、4/20(土)13:00～いちょうホール講師新井幹氏「元気になるシニアの音楽と軽い運動」 参加者：25名、音楽療法が高齢者の元気で過ごすために果たす役割について講話実践。 2、5/18(土)13:00～いちょうホール講師新井幹氏「セラピストの資質と倫理」 参加者：23名、実践現場においてセラピストとして必要な心得を講話・実践 3、7/6(土)13:00～いちょうホール講師 地域支援センターの方「認知症サポーター養成講座」 参加者：25名+会員外5名 認知症に対する理解と症状について学ぶ。 4、9/21(土)13:00～いちょうホール講師新井幹氏「福祉音楽パートナー養成講座」 参加者：21名 実技試験に向けて具体的な要点を、(セッションの内容・進行について) 5、10/19(土)13:00～いちょうホール実技研修・講習(実技を交えての演習) 6、12/21(土)13:00～いちょうホール講師渡辺要一氏「救命救急法の基礎知識」 参加者：25名+会員外7名主に心臓マッサージの仕方とAEDの取り扱い方について学ぶ 6、3/15(土)13:00～いちょうホール講師大月一夫氏「実践にすぐ役立つレクリエーションと楽しいマジック」参加者25名+会員外9名。歌で脳トレやタオル体操・ハンカチマジック(手品)等を学ぶ。</p>
	<p>[実技実習]</p> <p>7、6月・8月・・・病院・施設にて指導実習、10月、11月、1月は各自で実技実習を行った。</p>



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>[実践講習会]</p> <p>○7/6(土) 地域支援センターの方を招いて「認知症サポーター養成講座」を実施。参加者 30 名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症とはどういうものか、認知症の症状は、等から脳の神経細胞の死滅・減少から起こる様々な現象でアルツハイマー病が多く知られている病気である。音楽療法においても医学的・心理学面から心のサポートが必要になってくることを認識した。 <p>○12/21(土)市内病院の専門医による「救命救急法の基礎知識」について学ぶ。参加者 32 名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に「心臓マッサージの仕方」と「AED の取り扱い方」について、実践を交えて実施。実際に目前でこのような現象に遭遇した時、果たして救急車やドクターが来るまで行動出来るかどうか分からないが知識を得たことは大きい。・・・参加者の発言より <p>○3/15(土)長野県中信レクリエーション協会会長を講師に招き「実践にすぐ役立つレクリエーションと楽しいマジック」について、学ぶ。参加者 34 名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でもよく知っている「嬉しいひな祭り」や「赤い靴」「うさぎとかめ」などの歌に合わせて手遊びをしたり、替え歌で歌い込み算数(脳トレ)をしたり、タオル体操の考案の仕方を学んだりした。また、ハンカチマジックや新聞紙で作るいろいろ帽子など、楽しみながら手と頭を使った講習で、テーマに合った内容でおおいに成果を感じた。 <p>[まとめ]</p> <p>○日々高齢化が進む昨今、八王子市内の高齢者が一人でも多くお元気で、笑顔のある日々を過ごして頂くよう、音楽療法研究会では今後も研修・講習をおこないながら実践していきます</p> <p>○今後は、積極的に施設や病院などに出向き、多くの高齢者の方々の元気と笑顔の手助けを実践していきます。</p> <p>○今後の課題として、「音楽療法」についてもっと多くの方々に知って頂くためにも、市民の方々に参加を呼び掛ける講演会や講習会の機会を設ける必要が有ると感じました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ②多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 実践現場で必要となる簡単な小物楽器を購入。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>○昨年11月末、新井幹前代表が突然逝去されました。今まで新井先生が積んで来られた実践・研究を残された私達が引き継ぐことになりました。しかし私達はまだまだ研究も実践も途上です。今後は、高齢者の心身の健康維持に向けて、医学・心理学・社会福祉等の面を音楽療法を通して学び、実践に生かして行きたいと思えます。</p> <p>○施設等の現場では、利用者の方々、そこで働く職員の方々も含めて心と身体の健康維持・促進に役立つような、歌あそびや楽器で音あそび、脳トレなどを実践していきます。</p> <p>○今後も「元気になるシニアの音楽と軽い運動」の実践研究を行っていきます。</p>
---------	--

事業の成果・効果	<p>3日間で約80,000人の来園者は、葉さくらや八重桜の変調開花にも関わらず、予想を上回る盛況結果になりました。</p> <p>スタッフ一同食事を摂る暇も無く、来客の安全監視など、園内を巡視していた責任者も、嬉しい悲鳴と同時に最後まで気を引き締めていた。</p> <p>①陵南公園さくら祭りのキャッチフレーズ「ゴミ持ち帰りマナー」は来園者にも浸透し、クリーン作戦は、公園協会との連携も含め、出来るを実感しました。</p> <p>②交通整理や不法駐車についても、規制と警備に配慮し、ノントラブルでした。</p> <p>③不特定多数の来園者を含む【災害保険】を掛け、結果無災害で安堵できた。</p> <p>④祭りに来られた人達は陵南公園の桜、南浅川緑地の桜のトンネル、市役所本庁舎までの桜遊歩道の桜並木、又健脚の人は多摩森林科学園のサクラ保存林を楽しみ、八王子のサクラの名所の所在を再確認された事と確信しております。</p> <p>⑤八王子市の観光の目玉とし、また地域住民との協働で伝統文化の継承と産業振興の一助として、この祭りの期待の大きさを実感しております。</p> <p>⑥市民企画事業の補助金も祭り用備品の調達や諸経費を賄い、次回からの自立化に役立った。</p> <p>⑦地域住民や企業の参加はもとより、約8万人の来園者は、八王子市内での経済的効果にどれだけ貢献しているか、専門家に検証して頂き度と存じます。</p> <p>試算 経済効果 例 80,000人×1.3千円/一人=1億円以上</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ① ほとんど同じ ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	<p>「八王子陵南公園さくら祭り」の質の高さが評価され、役員の知恵と、スタッフの努力及びご支援いただける団体が年々増加してきた事は、何よりの財産です。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「八王子姫桜」＝絶滅危惧種：ホシザクラの啓発と保存活動。 2. 「八王子さくら巡りと楽しい歴史ロマン探訪マップ」「はし渡し10橋巡り」など 遊歩マップの活用。 3. 小学生や中学生のスポーツ振興として、YOSAKOI ソーランの普及活動。 4. 八王子の自然、伝統芸能、文化的財産など継承し子どもたちに郷土愛を育くみ、祭典を通じて、更なる観光資源としても内外に発信する。 5. 次年度より「さくら祭り」の諸経費は、自前で賄うことを前提に努力する。
---------	--

5 成果報告会 アンケート結果

アンケートの概要

実施日 平成26年6月14日(土) 成果報告会にて
 対象 成果報告会に来場された方
 内容 各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想

(1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	八王子市の子供達と外国人との交流を通して、子供達の健全な育成を支援する	
団体名	虹の橋	事業成果報告の記載ページ P6

- ・ 孫が学童へ行っているのので、是非行って、先生方をも支援していきたい。(70代女性)
- ・ 外国の方と子供達の交流の機会を増やしたいですね。(50代女性)

事業名	安全・安心な住環境整備と介護保険の活かし方講座&相談会	
団体名	特定非営利活動法人 はちふくねっと	事業成果報告の記載ページ P8

- ・ 重要な活動です。(50代女性)

事業名	八王子で野菜をつくらう!	
団体名	八葉会	事業成果報告の記載ページ P10

- ・ 身近な所で、安全な野菜が手に入られることを知り、良かった。(70代女性)
- ・ 定年菜園、広げていきたいですね。(50代女性)

事業名	生産、加工の容易な地元農産物の普及	
団体名	特定非営利活動法人 すまいるカフェ	事業成果報告の記載ページ P12

- ・ 地産地消、良いですね。地域ネットワーク作りの主役になりそうです。(50代女性)
- ・ 「らいふねっと MOE」とのコラボなど、積極的な活動の仕方は、大変良い指向だと思います。頑張ってください。(70代男性)

事業名	リユース食器を使おう会	
団体名	リユース食器ひなげし	事業成果報告の記載ページ P14

- ・ これからも、是非頑張ってやってほしい。(70代女性)
- ・ 東京都の団体への協力などにより、活動の幅が広がったことは、発足間もない団体としては、大成功です。(70代男性)

事業名	子供たちのための「百人一首競技かるた」体験出前講座	
団体名	八王子九重かるた愛好会	事業成果報告の記載ページ P16

- ・ 子供に対して、日本文化を伝える活動は、大変重要なことです。(50代女性)
- ・ かるたのような、日本文化の伝統は、皆さんの努力で子供達に伝えていただくことは、大変大事です。ありがとうございます。(70代男性)

事業名	暮らしの悩みと疑問をスッキリ解決！ファイナンシャル・プランナーによるセミナー&相談会	
団体名	FPネットはちおうじ	事業成果報告の記載ページ P18

- ・ だんだん受講者が増え、活発な活動が行われている様子が、わかって良かったです。(50代男性)
- ・ 公益的な市民活動かどうか、少々？(50代女性)
- ・ FP相談のような、個人情報に関する事業は、「市民企画事業」に採用され、信頼を得たという報告、その通りですね。(70代男性)

事業名	MUSIC BASKET～障害者、未就学児可の気楽なコンサート～	
団体名	MUSIC BASKET	事業成果報告の記載ページ P20

- ・ 若い人のグループで、未就学児や障害者と参加型で、音楽を楽しむ会は、良い企画・運動ですね。(70代男性)
- ・ 大きな会場での活動が、必要になりますね。(50代男性)
- ・ 交流をさせていただきたいと思い、名刺交換をさせていただきました。(70代女性)
- ・ 子供さんの為にも、忙しいお母さんのためにも、素敵なイベントだと思いました。(50代女性)

事業名	視覚障害者支援活動と点字の習得	
団体名	竹の子の会	事業成果報告の記載ページ P22

- ・ 地道な活動ですが、障害者支援という、大変立派な社会貢献活動です。頑張ってください。(70代男性)

事業名	植物博士とゆく草花散歩会	
団体名	草花散歩会	事業成果報告の記載ページ P24

- ・ 私の好きな野草についてなので、是非、参加してみたいと思いました。(70代女性)
- ・ 良い活動です。PR方法を考えて、参加者の増加を図ってください。(70代男性)

事業名	第二回シニアが元気になるフェスティバル	
団体名	八王子高齢者活動コーディネーター会	事業成果報告の記載ページ P26

- ・ 「シニアが教える小中学生の教育教室」の開始は、新しい試みであると思いました。子供本人のみならず、家族も喜ばれるというのは、素晴らしい。頑張ってください。(60代男性)

事業名	NP プログラムで自分らしい子育てを探そう	
団体名	若葉	事業成果報告の記載ページ P28

- ・ 低予算で、多様な活動をされていると思います。(40代女性)
- ・ 「完璧な親はいない」という考え方のもと、ちょっとした心配ごとを仲間と解決する、若葉のママのしゃべり場(←NP 学習の応用)が必要なことが良く分かった。(60代男性)

事業名	市民の視点で地域包括ケアを知る	
団体名	めじろ台安心ねっと	事業成果報告の記載ページ P30

- ・ 生活支援と互助は、地域での重要課題です。頑張ってください。(70代男性)
- ・ 良いことをされている事が、わかりました。(70代女性)

事業名	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」	
団体名	高尾山マガジン編集委員会	事業成果報告の記載ページ P32

- ・ いろいろなツールでの、高尾山PRは良いですね。大いにPRをしてください。(70代男性)

事業名	「大久保長安研究と八王子のまちおこし」	
団体名	大久保長安の会	事業成果報告の記載ページ P34

- ・ 歴史的なことがわかり、深い取り組みをされている様子がわかりました。これから八王子の発展のために頑張ってください。(70代女性)

事業名	「守っていききたい多摩丘陵の自然」-30年の活動-	
団体名	多摩丘陵の自然を守る会	事業成果報告の記載ページ P38

- ・ 八王子の希少、動・植物の調査は貴重です。これからも頑張ってください。(70代男性)
- ・ 30周年記念誌とは、大変良い記録になったことでしょう。地道な活動に拍手です!!(70代女性)

事業名	発達障がいに対する理解を深める音楽ムーブメント体験会の実施と「発達に凸凹のある子ども達」の受け入れ	
団体名	一般社団法人チャイルドライフ	事業成果報告の記載ページ P40

- ・ 難しいテーマですが、今後も継続してください。

事業名	情報弱者のためのスマホ・タブレット学習講座	
団体名	情報ボランティアの会(八王子)	事業成果報告の記載ページ P42

- ・ 少数の方をじっくり教えるから、薄くたくさんの人に教える発想の転換は良かった。(60代男性)

事業名	一筆箋「八王子ものがたり」で八王子の魅力アップ	
団体名	八王子ボランティアネットワーク	事業成果報告の記載ページ P44

- ・ 一筆箋を八王子のお土産にするというのは、良いアイデアと思った。(60代男性)
- ・ よくできていました。(70代男性)

事業名	元気になるシニアの音楽と軽い運動	
団体名	八王子音楽療法研究会	事業成果報告の記載ページ P46

- ・ 前代表が、突然亡くなられたのに、活動を継続されているのは、素晴らしい。頑張ってください。(60代男性)
- ・ 音楽と軽運動という、多くの人に受け入れられる活動だと、おもいます。

事業名	第5回 八王子城南公園さくら祭り	
団体名	特定非営利活動法人 八王子さくらの会	事業成果報告の記載ページ P48

- ・ 当日、参加しました。

(2) 成果報告会について主なご意見・ご感想

- ・ 継続して行ってほしい。(30代男性)
- ・ 大変有難いシステムだと思います。今年度も、充分活用させていただきたいと思っています。(70代女性)
- ・ 準備経費が、対象期間に反映されず、代替策を考慮して欲しい。(70代男性)

(3) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

- ・ 発表スタイルを、ポスター展示形式にすると、興味ある団体と直接交流できるのでは。
- ・ 各々が、認識した課題に取り組みられていることが、理解でき良かった。(30代男性)
- ・ ショッパーにも、載っていたのですが「わざわざ一般の方々がどのくらい聞いてくれるのか？」もっと一般にも、聞いてもらえる方法はないのかなと思います。(70代女性)
- ・ この成果を、一般市民にも公開する方法を考えてください。(70代男性)
- ・ 行政の力の及ばないところを、民間で知恵を出している。経済力も高めて欲しい。(60代男性)

6 交付団体連絡先一覧

部門	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援	八王子動物愛護会ネットワーク	月岡 弘	月岡 弘	八王子市大谷町870-4	042-645-8261
	虹の橋	遠藤 澄枝	遠藤 澄枝	八王子市平岡町6-12	042-625-3186
	特定非営利活動法人 はちふく・ねっと	小澤 邦博	小澤 邦博	八王子市西寺方町1006-218	042-651-7519
	八葉会	佐久間 幸夫	佐久間 幸夫	八王子市散田町2-13-15	042-668-2832
	特定非営利活動法人 すまいるカフェ	高倉 裕香	高倉 裕香	八王子市みつ台2-29-14	042-691-5045
	リユース食器 ひなげし	竹内 ひで子	竹内 ひで子	八王子市南大沢5-20-6-701	042-675-2351
	八王子九重かるた愛好会	与儀 清	手塚 年子	八王子市台町3-27-5	042-624-7538
	F P ネットはちおうじ	太矢 香苗	太矢 香苗	八王子市万町44-2	042-624-1732
	MUSIC BASKET	飯野 明日香	飯野 明日香	八王子市丸山町24-2	080-3010-2441
	竹の子の会	大久保 弘子	飯田 順子	日野市日野1085	042-507-8645
	草花散歩会	陣崎 草子	陣崎 草子	八王子市下柚木1987-1 (公財) 大学セミナーハウス・ユ ニットハウスB9	042-676-8532
	八王子高齢者活動コーディネーター会	渡辺 重男	渡辺 重男	八王子市松木40-13	090-4934-8707
	若葉	石渡 ひかる	石渡 ひかる	八王子市元横山町3-1-6	080-6608-1221
事業実施	めじろ台安心ねっと	嶺 学	青木 光子	八王子市めじろ台3-5-10	042-663-0695
	高尾山マガジン編集委員会	滝 将之	滝 将之	八王子市高尾町1614-1-302	042-673-5726
	大久保長安の会	常澤 敏彦	常澤 敏彦	八王子市東町13-6	042-642-6400
	新八王子NPOパワーアップ事業実行委員会	石井 利一	岩田 博次	八王子市万町80-11	090-1808-2938
	多摩丘陵の自然を守る会	石黒 富江	石黒 富江	八王子市南陽台3-13-6	042-676-6140
	一般社団法人チャイルドライフ	庄司 孝	都築 博	八王子市みなみ野1-7-1 第 三学生会館	042-638-0800
	情報ボランティアの会(八王子)	千種 康民	千種 康民	八王子市山田町1956-4	080-5187-2220
	八王子ボランティアネットワーク	山口 幸男	梅沢 香代子	八王子市清川町23-5	042-627-9399
	八王子音楽療法研究会	三渡 百合子	三渡 百合子	八王子市緑町745-1	042-625-0551
	特定非営利活動法人 八王子さくらの会	仁部 英二	松本 八郎	八王子市川口町3939-5	042-654-2822

平成25年度
市民企画事業補助金
成果報告書



平成26年7月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番1号
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/index.html>
